

しあわせ

HAPPY NETWORK

No.25

平成29年9月発行

発行

守山市民生委員児童委員協議会

編集：広報研修委員会

事務局：守山市社会福祉協議会

住所：守山市下之郷三丁目2番5号



民生委員制度創設100周年を迎えて

守山市民生委員児童委員協議会 会長 富田秀圓

民生委員制度は、岡山県で創設された済世顧問制度が始まりとされ、今年で100年となります。滋賀県では、大正10年2月に補導委員制度が創設され、市町村の自治協会長の申請によって知事の嘱託として任命され、市部は町内ごとに1名、町村部は大字ごとに1名が配置されています。職務は窮民の救済・疾病救療・生業扶助・就業斡旋・児童保護・生活改善等要救護者の保護指導などで任期は3年とあります。また、この制度創設以前は自治協会が窮民救済等の活動をされていたと記されています。（滋賀県民生委員制度70年史より）

のことから、守山市各地域においても、多く

の先輩方が長きに亘り熱い志を持って地域福祉活動をされてこられたことが解ります。私はこの熱き志とご苦労に思いを馳せ、今一度、現在の活動を見つめ、自分の在りようを振り返る良い機会であると捉えています。今、地域が抱える課題に取り組んでいくと共に、地域の方々が笑顔で「しあわせ」を実感できるまちを目指して、多くの関係機関と連携し、地域福祉の充実のために邁進してまいります。

民生委員制度創設100周年記念市民公開講座

～70周年記念タイムカプセル開封セレモニー～

日時：平成29年9月28日（木）13:15～16:00

場所：市民ホール 小ホール

内容：地域の見守り・支え合い

講師：松藤和生（K T 福祉研究所 代表）ほか

民生委員・児童委員への期待

守山市長 宮本和宏



民生委員・児童委員の皆様方におかれましては、昨年の一斉改選により、現在すべての自治会において、合計157名の皆さまが地域福祉の推進にご尽力をいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。また、今年は民生委員制度100周年の記念すべき年であり、心からお祝いを申し上げます。

さて、本市の人口は、平成29年6月末で82,360人となり、全国的には人口減少が進む中、毎年800人程度の人口が増加しております。このことは、高齢者の見守りや赤ちゃん訪問活動など、

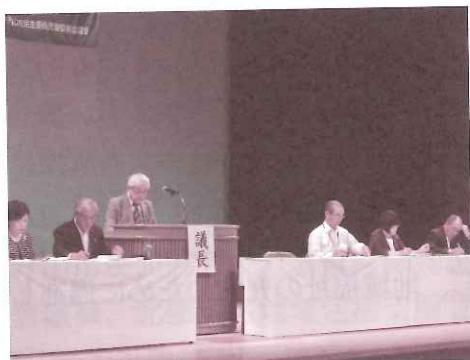
皆様方のきめ細やかな日々の活動により、地域の絆がしっかりと築かれていることが、暮らしやすさや安心につながり、「住みやすいまち」との評価をいただいていると考えており、お礼を申し上げます。

今後につきましても、市民福祉の向上を通じて、市民の皆さまが「守山に住んで良かった」と真に感じていただける『活力ある「住みやすさ日本一」が実感できる守山』の実現に向けて取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成29年度 総会・全員研修会

去る5月26日(金)、午後1時半より総会が開催された。宮本和宏市長をはじめ、高田正司市議会議長、川上肇市福祉事務所長、本城眞佐一市社会福祉協議会長ら4名の来賓を迎える、富田秀圓会長のあいさつで始まった。

出席者141名で、最初に昨年度活動報告、決算報告、監査報告があった。次に今年度活動計画や予算が協議され共に原案とおり承認された。



小休憩の後、全員研修会が行われた。「子ども貧困問題にどうかかわるのか」と題して、

幸重社会福祉士事務所代表の幸重忠孝氏の講演がありました。幸重氏はこれまで県スクールソーシャルワーカーや子ども居場所づくりなど様々な活動をされている。特に、目に見えない子どもの貧困については、公的制度だけでは不十分であり、子ども自身が貧困に気づかないことがあるという。守山市でも始まっている学習支援活動や子ども食堂への支援がますます重要なになってきている。

最後に民生委員児童委員の歌「花咲く郷土」を全員で歌って終了した。

(水野民男 記)

平成29年度 県外研修

6月21日(水)、総勢121名は梅雨入り後、初めて降った大雨の中、愛知県安城市の中心市外拠点施設「アンフォーレ」(官民一体複合施設)に向かいました。

新築の建物内で『総合事業の取り組み・生活支援コーディネーターとの関わり』をテーマに安城市社会福祉協議会(社協)の職員の方を講師に研修をしました。

安城市社協では、平成9年より中学校区ごとに地区社会福祉協議会の設立が進められ、組織化され、コミュニティーウーカー(地域援助者)

として、また、平成27年からは生活支援コーディネーターとして社協職員が配置されていま

す。住民主体の地域福祉活動の組織として町内会ごとに福祉委員会が組織されています。

地区社協を学区社協に、町内会を自治会に、福祉委員会を健康福祉部会に置き換えると守山の現状にほぼ当てはまり、わかりやすくなりま



す。平成29年度よりスタートした総合事業の推進を住民主体の福祉活動が定着している安城市のようにすぐにはできませんが、守山市民児協らしい取り組みへのよい機会となり、有意義な研修となりました。

(大谷加代子 記)

民生委員・児童委員 活動紹介

守山市民生委員児童委員協議会には、4つの専門部会と2委員会があります。全ての委員がそれぞれに分かれ、識見の向上、ならびに福祉啓発のために活動しています。

生活自立支援福祉部会

低所得世帯、障害者世帯、または高齢者世帯、日常生活全般、自立した生活に困難を抱いておられる方々、各関係機関に繋ぎ、行政や専門機関と連携し、生活意欲や自立支援に協力できるよう学習しています。



高齢者福祉部会

地域に住む高齢者を見守り相談を受けた時に助言ができる知識の増大を図るために高齢者に関する制度や健康に関する研修会、施設の視察研修など情勢の流れに応じた研修会を実施しています。



障がい児・者福祉部会

障がいに対する知識を深め、理解して、共に地域で生きるために民生委員・児童委員として、何ができるかを学んでいます。地域での助け合い活動、特に災害時の対応をどうするのか、日頃の声掛けや見守り等の支援活動につなげていければと思います。



児童・家庭福祉部会

子どもの貧困や不登校などの現状を知るために研修をしたり、実際に児童施設を訪問しています。また、育児放棄など虐待の学習を深め、家庭での豊かな親子関係をどう構築していくか、子どもの自立を促すために何が必要かを考えています。



主任児童委員会

「赤ちゃん訪問活動」をはじめ、学校・園や児童福祉施設と児童委員のパイプ役として、子育て中の母さんや子どもへの様々な支援活動を行っています。



広報研修委員会

民生委員・児童委員活動の啓発のため、本紙「広報しあわせ」発行を年2回のほか、識見の向上のため全員研修会を年3回実施しています。



民生委員制度創設100周年記念 「速野学区民生委員児童委員の集い」開催

5月11日(木)（同月12日の民生委員児童委員の日並びに18日までの活動強化週間に合わせ）学区民児協主催、民生委員制度創設100周年記念「速野学区民生委員児童委員の集い」開催。



集いのコンセプトは「先達への感謝と敬意」。

参集者は、先輩民生委員・児童委員、守山市民児協会長、滋賀県議会議員、守山市議会議員、北部地区地域包括支援センター職員、守山市福祉事務所長、速野会館の館長と職員、守山市社会福祉協議会会长と職員、速野学区社会福祉協議会の皆様と現民生委員・児童委員の

員、守山市民児協会長、滋賀県議会議員、守山市議会議員、北部地区地域包括支援センター職員、守山市福祉事務所長、速野会館の館長と職員、守山市社会福祉協議会会长と職員、速野学区社会福祉協議会の皆様と現民生委員・児童委員の

総勢57名。

集いは3部構成、第1部：物故者追弔。第2部：開会セレモニーと研修会①講話「委員



活動の今後について」（市社協）、②スライドショー「学区の福祉活動と民児協活動」、第3部：懇親会を実施。



参集者とりわけ、先輩の民生委員・児童委員の方々の地域福祉活動への熱い思い入れを知り、この熱い想いを現任の委員がしっかりと受け継ぎ、この後の100年につながる活動にしていきたいと想いを新たに。

(山本なお栄 記)



守山市社協学区担当者紹介



6月末にテレビ・新聞等で航空会社が「車椅子客に階段を上がらせる」というニュースを目にした。何と悲しい出来事か。昨年4月に施行された障害者差別解消法の目的は、全ての国民が障害の有無により分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しながら共生する社会を実現することとなっています。法の対象は、国や地方公共団体、民間事業者である。この法では、障害を理由とする差別の禁止をうたっていますが、今回の件に関しては、民間事業者の合理的配慮が欠けていると感じた。法の対象者のご努力を期待します。

(三上寛司
記)

編集後記